

2014 年度政務活動費の収支報告と領収書の公開について

2015 年 6 月 30 日
日本共産党名古屋市議団

6 月 30 日より、2014 年度の政務活動費の収支報告書、および領収書が公開されました。昨年に引き続き、日本共産党名古屋市議団では収支報告、領収書や関係帳票とともに報告書についても公開し、市民の皆さんに対して開かれた議会活動に力を尽くしました。

日本共産党名古屋市議団の、2014 年度の政務活動費の概要は、次の通りです。

1. 収支の概要

2014 年度は、支給額 30,000,780 円（利息含む）にたいし 23,236,487 円を支出し、77.4%の執行率でした。市に 6,764,293 円を返還します。

2. 支出等の主な特徴

① 執行率について

4 年前、2011 年 2 月の市議会リコール解散にともない、議員任期が 2015 年 3 月 12 日であったため、政務活動費の執行期間が例年に比べ、約 1 か月間短縮されたことにより、約 2 割の政務活動費を市に返還することとなりました。

② 広報・広聴費（支出全体の 19.4%）

市議団ニュースや、市政懇談会を開催しました。

③ 調査研究費（1.1%）

④ 事務所事務費（13.5%）

⑤ 人件費（57.3%）

3 人の政務活動補助員が、5 人の党議員団の調査・研究、広報において補助を行いました。補助員は、団控室で活動しています。

3. 公開について

① 日本共産党名古屋市議団は、領収書、収支報告書だけではなく、さらに詳細な支出内訳と政務活動報告書（調査研究報告書、研修報告書、広聴広報報告書）を議長に提出し、市民に閲覧できるようにしています。

② 収支報告書に加え、出納簿を日本共産党市議団ホームページで公開しています。またご連絡いただければ市議団控室でも閲覧していただくことができます。

4. より開かれた議会活動をめざし改革を前進させます

出納簿など領収書以外の帳票類を公開し、「使途の透明性を確保する」（議会基本条例）とともに、按分の根拠の明確化、実態に応じた按分が困難な場合の上限設定などで、使途の厳格化を図ります。また「活動成果を市民へ報告する」（同条例）のために、政務活動報告書を市民に公開することを各会派に求めています。